

平成20年度の輸送実績（速報）

平成21年4月

1. 輸送概況

平成20年度は、6月と7月に岩手・宮城両県での2回の地震の影響を受けたほか、8月から9月にかけて、「平成20年8月末豪雨」に象徴される記録的な集中豪雨による輸送障害が続発したことにより、年間を通し高速貨763本、専貨28本が運休した。

上期の荷動きについては、原油及び原材料価格の高騰を背景とした景気減速に伴う需要の減退が一部に見られたものの、モーダルシフトの進展もあり、上期コンテナ輸送量が過去最高になるなど比較的順調に推移した。しかし、秋口以降は、「百年に一度」といわれる世界同時不況の影響を受け、製造業各段階での減産体制が月を追うごとに拡大し、急激な需要の落ち込みとなった。

コンテナ貨物は、家電・情報機器が唯一前年を上回ったものの、自動車部品をはじめ、化学工業品、化学薬品、紙・パルプなど、その他全ての品目が前年を大きく下回り、年度全体では前年比94.7%となった。家電・情報機器はメーカーのモーダルシフトへの取組みが進展し増送となった。一方、自動車部品、化学工業品、化学薬品、紙・パルプは景気悪化に伴う秋口以降の減産体制の拡大により、大きく減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比85.3%となった。石油は4月の暫定税率の廃止及び復活の影響で、一時的に需要が大きく変動したが、世界的な原油価格の高騰を背景とした燃料転換の進展及び消費の減少のほか、生産活動の低迷等の影響を受け、大きく減送となった。セメント・石灰石は建築需要の低迷等により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千ト、%)

種別 扱別	平成20年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	22,179	23,417	94.7%
車扱	10,905	12,783	85.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千ト、%)

扱別	品目	本年度実績	前年度実績	増減	前年度比
コンテナ	農産品・青果物	2,321	2,410	-89	96.3%
	化学工業品	2,038	2,234	-196	91.2%
	化学薬品	1,532	1,668	-136	91.8%
	食料工業品	3,353	3,380	-27	99.2%
	紙・パルプ	3,478	3,771	-293	92.2%
	他工業品	1,667	1,768	-101	94.3%
	積合せ貨物	2,406	2,534	-128	94.9%
	自動車部品	769	838	-69	91.8%
	家電・情報機器	419	398	21	105.3%
	エコ関連物資	371	373	-2	99.5%
	その他	3,830	4,039	-209	94.8%
	コンテナ計	22,179	23,417	-1,238	94.7%
車扱	石油	7,176	8,236	-1,060	87.1%
	セメント・石灰石	1,396	1,507	-111	92.7%
	車両	1,194	1,444	-250	82.7%
	その他	1,136	1,596	-460	71.1%
	車扱計	10,905	12,783	-1,878	85.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年度は速報値、前年度は確報値)